



- ◆「大分市自転車等の放置の防止等に関する条例」に基づく附置義務駐輪場の設置基準  
 ≪小売店舗、物品賃貸業（音楽、映画等に係るものに限る。）を営む店舗及び飲食店≫  
 自転車等駐車場の規模：施設面積が20㎡ごとに1台（緩和措置あり）



○22・54街区の容積率（600%、500%）をフルに活用した場合、  
 附置義務の駐輪台数は、**1,200台必要**  
 ○延床面積（22・54街区）に対する駐輪施設の面積割合は、**約3%**  
 ※54街区のみの場合は、**約6%**（別紙図面）

※延床面積：【22街区】 57,300㎡（計画建物 守衛室・機庫等 ハスターミナル 荷捌き場）  
 【54街区】 68,550㎡（計画建物 守衛室・機庫等 駐輪場 立橋場 荷捌き場）  
 【合計】 125,850㎡  
 ※駐輪施設面積：4,350㎡

### ○大型バス等駐車場の対応について

- ・これまで、**市主催事業やイベント、ホテル宿泊客用バス等**の駐車場として54街区を利用した経過があり、これらの機能の取り扱いについて方向性を決める必要がある。

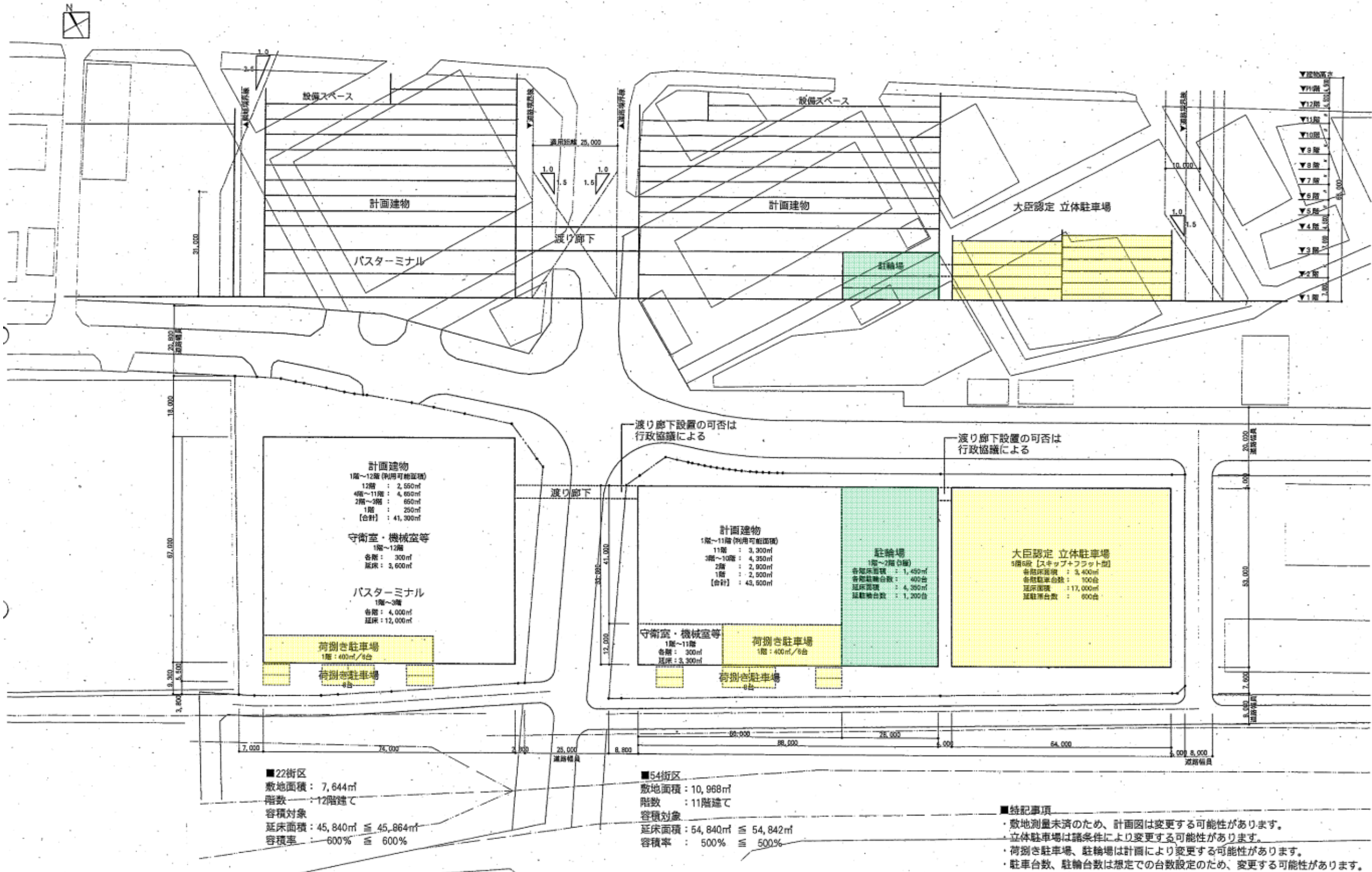
≪平成29年度利用実績≫

ホテル宿泊客用マイクロバス駐車場	8件
イベント等関係者駐車場	7件
市主催事業用関係者駐車場	15件
現場事務所、資機材置き場、駐車場	12件

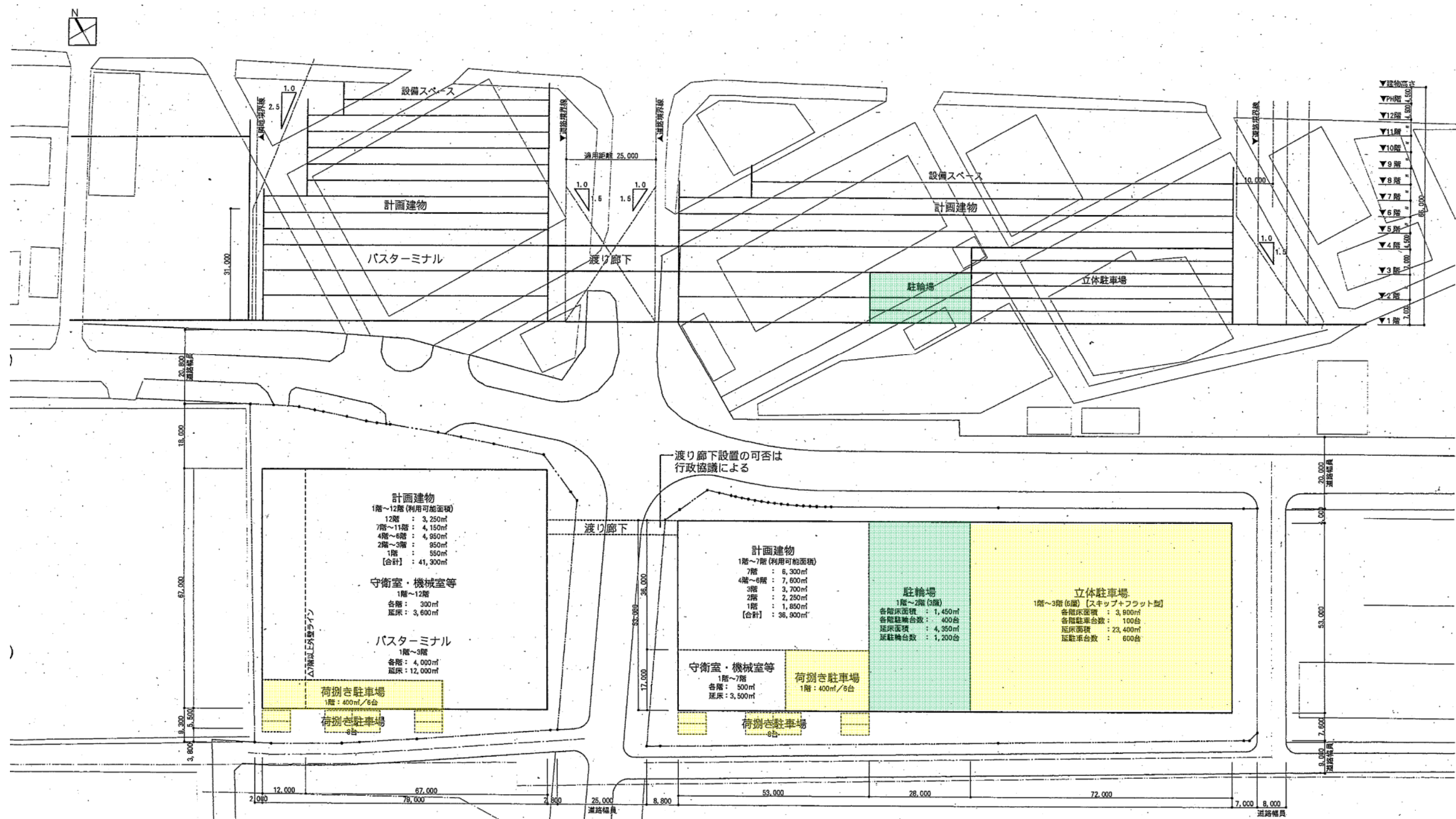
- ※現場事務所、資機材置き場としての利用は、平成30年4月末で終了し、以後認めていない
- ・平成24年11月19日付けで大分市ホテル旅客事業協同組合より「大型バス駐車場確保等に関する要望書」が提出され、大分市中心部における有料大型バス駐車場の確保が要望された。
- ・平成27年4月1日より22街区で「大分市要町貸切バス駐車場」（収容台数20台）を供用開始。営業用バス（緑ナンバー）の受入は可能となっている。

交通機能結節施設（22街区） 平面図









計画建物  
 1階~12階(利用可能面積)  
 12階 : 3,250㎡  
 7階~11階 : 4,150㎡  
 4階~6階 : 4,950㎡  
 2階~3階 : 850㎡  
 1階 : 550㎡  
 [合計] : 41,300㎡

守衛室・機械室等  
 1階~12階  
 各階 : 300㎡  
 延床 : 3,600㎡

バスターミナル  
 1階~3階  
 各階 : 4,000㎡  
 延床 : 12,000㎡

荷捌き駐車場  
 1階 : 400㎡/6台

計画建物  
 1階~7階(利用可能面積)  
 7階 : 6,300㎡  
 4階~6階 : 7,600㎡  
 3階 : 3,700㎡  
 2階 : 2,250㎡  
 1階 : 1,850㎡  
 [合計] : 36,900㎡

守衛室・機械室等  
 1階~7階  
 各階 : 500㎡  
 延床 : 3,500㎡

荷捌き駐車場  
 1階 : 400㎡/6台

駐輪場  
 1階~2階(5階)  
 各階床面積 : 1,450㎡  
 各階駐輪台数 : 400台  
 延床面積 : 4,350㎡  
 延駐輪台数 : 1,200台

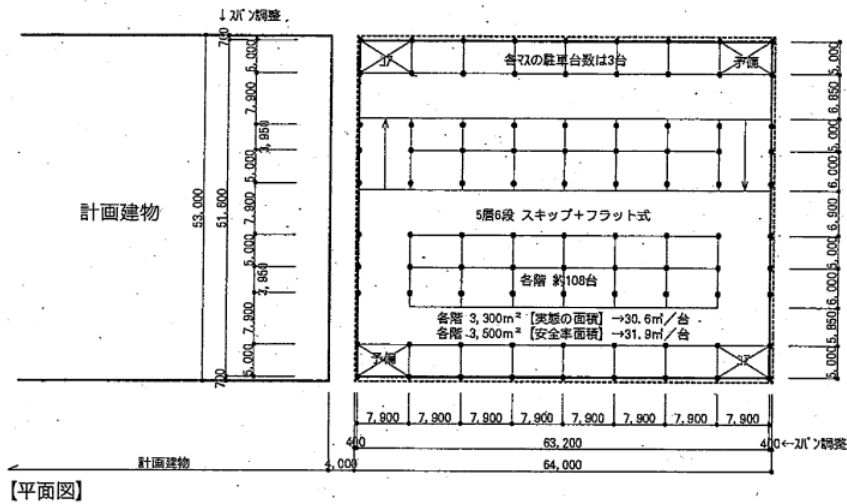
立体駐車場  
 1階~3階(6階)【スキップフロット型】  
 各階床面積 : 3,800㎡  
 各階駐輪台数 : 100台  
 延床面積 : 23,400㎡  
 延駐輪台数 : 600台

■22街区  
 敷地面積 : 7,644㎡  
 階数 : 12階建て  
 容積対象  
 延床面積 : 45,840㎡ ≦ 45,864㎡  
 容積率 : 600% ≦ 600%

■54街区  
 敷地面積 : 10,968㎡  
 階数 : 7階建て  
 容積対象  
 延床面積 : 54,840㎡ ≦ 54,842㎡  
 容積率 : 500% ≦ 500%

■特記事項  
 ・敷地測量未済のため、計画図は変更する可能性があります。  
 ・立体駐車場は諸条件により変更する可能性があります。  
 ・荷捌き駐車場、駐輪場は計画により変更する可能性があります。  
 ・駐輪台数、駐輪台数は想定での台数設定のため、変更する可能性があります。

■大臣認定駐車場 計画寸法の条件整理

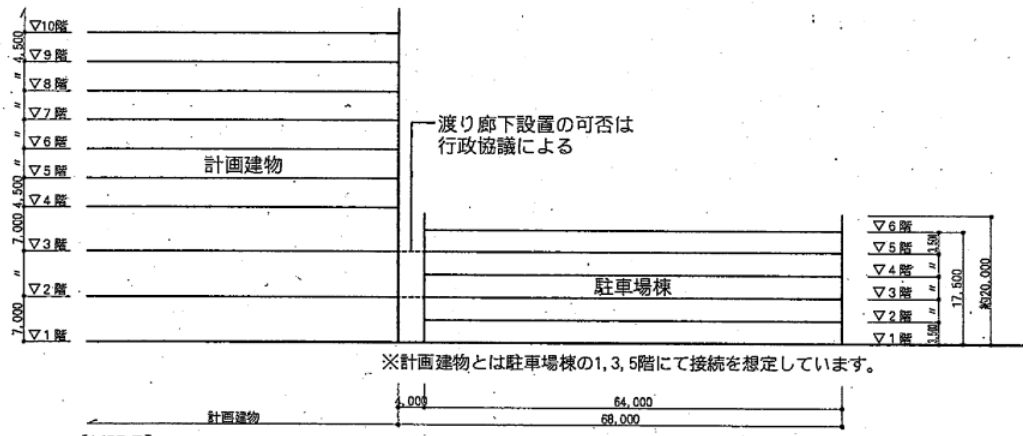


■備考

・X方向の「スパン」は【1スパン8m】にて設定。(柱サイズは1m口にて想定)  
 ・Y方向に53m確保出来れば(※安全を見れば+2m程度上げたい)、  
 【(合計「スパン」の数-2「スパン」)×18台】の台数の確保が可能。

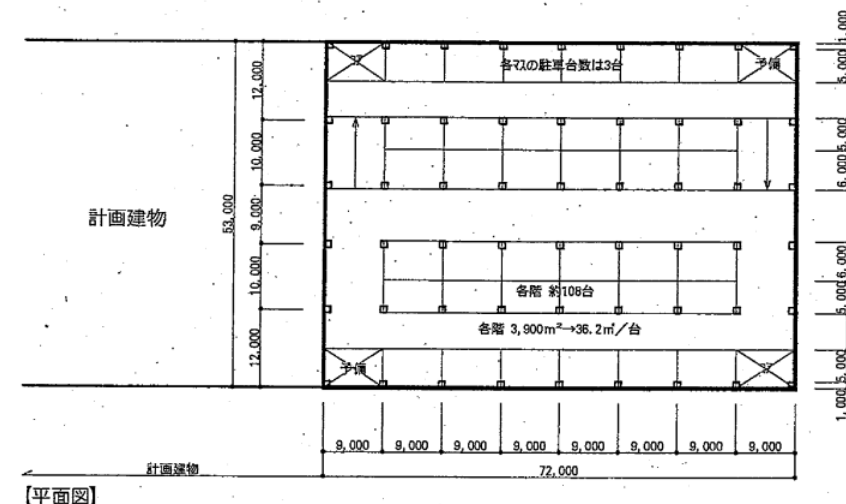
■特記事項

※大臣認定の可否、対応可能スパン等につきましては、  
 メーカーへの詳細確認が必要になります。  
 ※上記駐車台数は概算値であり、現計画の参考台数となります。



【断面図】

■在来工法駐車場 計画寸法の条件整理

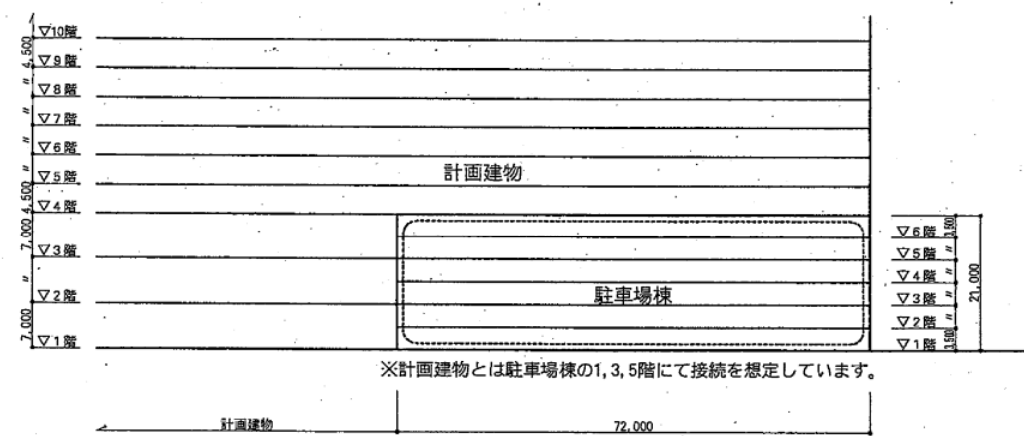


■備考

・X方向の「スパン」は【1スパン9m】にて設定。(柱サイズは1m口にて想定)  
 ・Y方向に53m確保出来れば(※安全を見れば+2m程度上げたい)、  
 【(合計「スパン」の数-2「スパン」)×18台】の台数の確保が可能。

■特記事項

※柱サイズ、「スパン」計画によっても駐車台数が大きく変動するため、  
 上記駐車台数は概算値であり、現計画の参考台数となります。  
 ※上の階の柱割りも下の階の駐車場柱割りによって大きく制約を受けます。



【断面図】

■駐輪場 計画寸法の条件整理



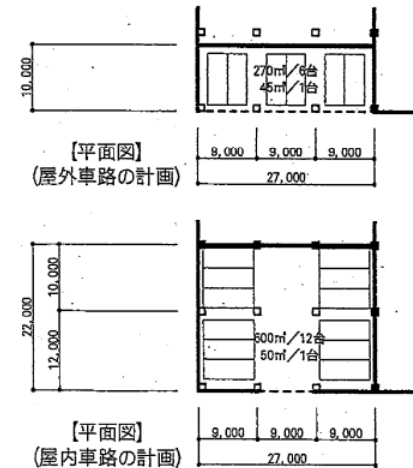
■備考

・駐輪台数は安全率を考慮して3.6mに1台見込む計画とします。

■特記事項

※柱サイズ、「スパン」計画によっても駐輪台数が大きく変動するため、  
 上記駐輪台数は概算値であり、現計画の参考台数となります。

■荷捌き駐車場 計画寸法の条件整理



■備考

・駐車台数は安全率を考慮して60mに1台見込む計画とします。

■特記事項

※柱サイズ、「スパン」計画によっても駐車台数が大きく変動するため、  
 上記駐輪車数は概算値であり、現計画の参考台数となります。  
 ※荷捌き駐車場は3m×7.7mの駐車スペース(天井高さ3m)が必要になります。